

日本学生支援機構 平成30年度進学予定者 給付奨学金について

高知県立大方高等学校

1 趣旨

高等学校等において優れた生徒であって、大学等への進学の目的及び意志が明確であるにもかかわらず、経済的理由により進学が極めて困難な生徒に対して、返還の必要のない給付奨学金を交付することにより、大学等への進学を後押しすることを目的とするものです。

2 対象者

- 平成30年度以降に、大学・短期大学・高等専門学校（第4学年）・専修学校専門課程に進学（進級）する卒業予定者とする。（家計支持者が住民税非課税または生活保護受給中の人、社会的養護を必要とする人）
- 編入学又は転入学した生徒に関しては、以前に在学していた高等学校等における学習成果や活動についても加味する。
- 高等学校等卒業後2年以内の者は推薦対象となることから、卒業生に対しても募集案内等の周知に努め、募集期間内であれば申請を受け付ける。

3 推薦人数

大方高校 3名（全日制・定時制・通信制の各課程から1名）

※ 社会的養護を必要とする生徒については、推薦枠の範囲外で推薦することができる。

※ 下記7スケジュール※1の募集期間に、希望者がいなければ推薦枠を他の課程に振り分ける。

4 給付月額

進学先	国立 ※		公立		私立	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
大学・短期大学 高等専門学校（4年生） 専修学校（専門課程）	2万円	3万円	2万円	3万円	3万円	4万円

※ 国立の大学等に進学して、授業料の全額免除を受ける場合には、給付金額が減額されます。

（自宅外通学：3万円→2万円、自宅通学2万円→0円）

注 児童養護施設等に入所している人は、社会的養護を必要とする人として、給付奨学金の他に一次金24万円を受給できます。

5 推薦基準

選考対象から推薦基準①～④をもとに、総合的に判断する。なお推薦基準①～④の詳細については別紙「日本学生支援機構給付奨学生の推薦基準」を参照。

- ① 人物評価について ※レポート提出あり（進学の目的・将来設計 等）
- ② 健康について
- ③ 学力及び資質について
- ④ 家計について

6 選考体制

選考にあたっては、校長・各課程教頭・選考委員による選考会を開催し決定する。

- ① 各課程の選考委員会にてそれぞれ推薦者を決定する。
- ② 推薦枠を他の課程に振り分ける場合は管理職と関係課程の選考委員（代表者）において決定する。

7 スケジュール・提出書類

【スケジュール】

募集期間 ※1	申請書 提出期間	選考会 ※2	スカラネットによる 申込み ※3	申請書類 発送期日	申請書類 到着期限	決定通知
6/1(木)～ 6/15(木)	6/26(月)～ 7/7(金)	7/11(火)	・ 申込期間(申請者) 7/12(水)～7/19(水) ・ 推薦期間(学校) 7/13(木)～7/20(木)	7/21(金)	7/24(月)	10月下旬

※1 募集期間中に、申込者が無ければ推薦枠を他の課程に振り分ける。

※2 選考会の結果は本人に連絡する。

※3 スカラネット（インターネット）による申込み

「スカラネットによる申込み」とは、インターネットを使用して日本学生支援機構の奨学金申込み専用ホームページにアクセス（接続）し、申込情報を入力する手続きのことです。手続きについて奨学金担当から説明をしますので、指示に従って進めてください。

- ① 給付奨学金のみ希望する人は、「スカラネットによる申込み」は不要。
- ② 給付奨学金と貸与型奨学金の両方に申込みを希望する人は「スカラネットによる申込み」が必要。

【提出書類：提出期間（6/26～7/7）までに提出】

- 給付奨学金確認書（申込書）
- 住民税非課税世帯等に関する証明
 - ▲ 家計支持者（2名いる場合は2人とも）が住民税非課税
⇒ 平成29年度住民税非課税証明書
 - ▲ 家計支持者が生活保護受給中
⇒ 平成29年度住民税非課税証明書または生活保護受給証明書（※直近3か月以内に発行）
 - ▲ 児童養護施設等入所者、里親の養育を受けている人
⇒ 施設等在籍証明書または児童（里親）委託証明書
- レポート提出（進学のための目的・人生設計・将来の展望等）
- 親権者の同意を得られない未成年者の必要書類（該当生徒のみ）
 - ▲ 奨学金給付契約の追認に関する意思表示書
 - ▲ 意見書（事情書）⇒ 入所先施設長が作成